

聖霊降臨節第15週 歓迎礼拝

2015年8月30日 第一礼拝(8:00～) 歓迎礼拝(10:30～) (午後の行事に伴い夕拝は休会)

第1部 **PRELUDIA HOUR** (賛美の時)

※歓迎の賛美 同

第2部 **BIBLE HOUR** (みことばの時)

聖書朗読 『コリント人への手紙 第二』 1章3-5節..... 司 会 者
(新改訳345ページ、新共同訳325ページ)

黙 想 同

メッセージ 「慰めの人生へ踏み出す」 近 伸之牧師

黙 想 同

※応答の賛美 新聖歌208「イエスは愛で満たす」 同

感謝の献金 (新聖歌55) 同

感謝の祈り 小林 洋子姉

諸 案 内 (来信および集会案内) 司 会 者

諸 報 告 (来会者紹介および報告) 近 伸之牧師

※頌栄の賛美 新聖歌198「GOD BLESS YOU」(1番のみ) 同

※派遣の賛美 新聖歌54「主の祈り」 同

※祝福の祈り 近 伸之牧師

※後 奏 (新聖歌59-7)

第3部 **FELLOWSHIP HOUR** (交わりの時)

愛 餐 会

お身体の不自由な方以外は、※印の所でご起立をお願いします。

司 会：伊東 一馬兄 録 音：片山 勝三兄 C S 担 当：片山 初子姉
集 会：小山 千春姉 音響・賛美リード：賛美チーム 掃 除：横堀 信子姉
映 像：近 伸之牧師 説教の録画：山崎 敬典兄

説 教 メ モ

1. 人が苦しみを感謝に変えることができるのは、時間が経った時ではなく「慰め」を受けた時。神はひとり一人に特別の計画を備えておられ、みこころにかなった時に、私たちに慰めを与えられる。神からの慰めを経験した者は、どのような苦しみの中にある人にも、その「慰め」を与えることができる。
2. 神は、病をいやすこともできるし、あえて病を残されることもある。パウロもまた「肉体のとげ」を三度も取り去って下さいと願ったが、神は彼に恵みを教えるために、そのとげを残された(参照：第二コリント12章)。病にかかることを通して、あるいは病からいやされることを通して、私たちはイエス・キリストに出会う。このキリストを心から救い主として信じるときに、すべてのことがこの出会いのためであったと気づくのである。

牧師のサイン _____

個人、団体からの来信

(2015年8月30日)

『PBAだより』vol.642/『福音新潟山形』第50号/新潟福音放送協力会より、ニュースレターNo.211 会計報告、横田早紀江さんインタビュー番組のお知らせ(9/19土、9/26土に放送)/ 新潟福音キリスト教会より、ワンコインチャペルコンサートの案内(10/17土 19:00開演)

先週の集会出席者数

8/23(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 子ども 成人男性- 幼児女子3 小学女子1 中学女子- 高校女子2 7名 成人女性2			
8/23(日)	第一礼拝	男2 女2 計4	8/24(月)	夏のお楽しみ子ども会	男4 女11 子7
	歓迎礼拝	男18 女22 計40 子5	8/24(月)	月曜家庭集会	男2 女4 計6
	子ども向け夕拝	男5 女9 子3	8/26(水)	台湾宣教の夕べ	男9 女15 計24 子2
			8/28(金)	しゃべり場タビタ	男- 女4 子1
			8/28(金)	金曜祈禱会	男- 女4 計4

諸集会のご案内

	※毎月、実用書道教室を開催。		
8/31(月)	月曜家庭集会	(休会)	
9/2(水) 午後7:30	バルナバ祈禱会	教会堂	司 会：片山 初子姉
9/3(木) 午後1:30	しゃべり場タビタ	渡辺智子姉宅	問合先：渡辺 智子姉
9/4(金) 夜	金曜祈禱会	教会堂	

9/6(日) 聖霊降臨節第16週

第一礼拝 8:00～	司 会：近 伸之牧師 説 教	音 響：片山 勝三兄 献 金	聖餐準備：担当役員 配 餐：横堀 正美兄
教会学校 9:00～	担 当：小林 洋子姉		
聖餐礼拝 10:30～	司 会：近 伸之牧師 集 会：小川 柳子姉 横堀 信子姉	PJ・録音：片山 勝三兄 奏 楽：横山 洋平兄 録 画：近 伸之牧師	感謝祈禱：山崎 敬典兄 配 餐：横堀 正美兄 掃 除：小川 柳子姉

礼拝について (聖餐礼拝)	開会：46 感謝：221 応答：196 頌栄：63 派遣：54
主日の予定	C S 教師会 母子室 定例役員会 教会堂 礼拝後 午後2:00～
夕 拝	※午後7:00より新潟福音教会で行われる「世界宣教の夕べ」に合流

報 告

1. 本日の予定
歓迎礼拝の恵みを感謝します。この後は第3部として愛餐(昼食)の時を持ちますので、どなたでもご参加ください。午後4:00からは北新潟キリスト教会において青年向けバーベキュー交流会が行われます。なお、本日の夕拝は休会とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
2. 先週の来会者
8/23(日)
CSと礼拝に出席：倉島菜奈さん、武藤はなさん(敬和高1年)
歓迎礼拝に出席：伊藤颯太くん、今井基貴くん、小柳英祐くん、斉藤悠斗くん、松尾優大くん、森川潤也くん、渡辺亮大くん、(敬和高2年) 小柳純一さん(保護者)
大倉隣太郎くん、味方紗和子さん、高橋未来さん、(敬和高3年)
8/24(月)夏のお楽しみ子ども会：猪俣千紗さん(小学2年)
8/26(水)台湾宣教の夕べ：渋谷智子さん、渋谷恵一兄、斉藤五十三宣教師(講師)

フランスの文学者で、フランソワ・モーリヤックという有名な方がいらっしゃいますね。この方が、キリストの生涯のことをこんなふうに言ってるんですね。「馬草(まぐさ)の桶の時から、すでにキリストは十字架にかけられているのだ。それは、傷ついた人間性の傷を愛で癒したいと望まれたからだ。」

イエス・キリストは、本当に家畜小屋の飼葉桶の中に、赤ちゃんとしてお生まれになりました。その時からもう、からだ中、藁などがチクチク刺していたんじゃないかと思います。はじめから、人から傷つけられる人生でしたし、そして十字架に釘付けられて傷つけられました。それからよみがえられて、弟子たちの前でご自分の傷を示されて、「これはあなたがたのためにわたしが受けた傷ですよ」とおっしゃいました。ある意味では、キリストの人生というのは、生涯傷だらけの人生とも言うことができるわけですね。

どうしてそのような傷を負われたのでしょうか。人間は、みんないろんな傷を持っていますね。その心の傷をいやすことができるのは、やっぱり、傷を持った人でなければならぬ。傷が傷をいやすんですね。『イザヤ書』の53章に、「その打たれた傷によっていやされた」と書いてあります。前に申し上げました太宰治の言葉を借りるまでもなく、ほんとうに優しい人は、憂いを持った人だと言われます。

イエス・キリストは、人間の憂いをすべて自分自身の身に負われて、自ら傷ついてくださったお方。その傷によって私たちがいやすことができるお方だということなんですね。

同志社の創立者である新島襄のお話です。学内で問題が起こった時に、その新島襄が、「この責任は私にある」と言って、手に持っていたステッキで自分の腕をビシッビシッとたたいた。皮が破れて、血が流れ出して、壇上にたたらと血が流れ落ちました。学生たちは、飛びついて、「先生、すまなかった、悪かった」と詫言ったのです。ある意味においては、新島襄の、その傷を見て学生たちの心が癒されたと言えます。

私たちの心にいろんな傷がありますが、イエス・キリストは、その痛みと傷とをご自分の身に負って苦しんでくださった。そのイエス・キリストを見上げる時に初めて、人間の心はいやされる。ほんとうの優しさは、傷を受けてくださったキリストによって得られるということなんですね。

「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。」 (新約聖書『ガラテヤ人への手紙』5章22、23節)



2015年度教会目標 「心から進んで」

年間目標 それぞれに違った賜物が与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「彼らはそれを進んでささげるささげ物として【主】に持って来た」(出エジプト35:29)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジヤに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)

BSN ライフライン 毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。 ☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



9/5(土)「変えられた人生観」長岡淳三さん(写真) メッセージ:原田憲夫

神奈川県横浜市で税理士事務所を営む長岡淳三さんは、様々な企業の顧問税理士として高い評価を得ています。「税に対する専門的知識の研究」、「経験と実績に基づく提案」、「納税者との信頼関係」を大切にしている長岡さんには、それらの土台となる大切な人生観があるといえます。長岡さんの仕事の様子を紹介するとともにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN. ここから始まる、あなたの伝道。 私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15
日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)
 TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
 ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>
 電子メール: info@toyosakakyokai.com
 ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

